

議会だより

太子

だいが

No.191

平成29年11月6日発行

茨城県
太子町議会

目次

- 議会報告会 2~4
- 平成29年第3回定例会... 5~7
- 平成28年度決算の認定
..... 8~9
- 一般質問目次 10
- 「わくわくわたしの夢」...20

○ 「シリーズ太子の風景⑥ りんごの木の下で ~奥久慈太子フォトコンテスト作品から~」 ○

会を実施しました

出席議員

1班 中郡一彦、齋藤忠一、佐藤正弘、藤田英夫

2班 菊池靖一、金澤真人、大森勝夫、菊池富也

3班 野内健一、鈴木陸郎、藤田 稔、岡田敏克、須藤 明



議会報告会の様子

「自分たちで足を運んで報告しよう。」議会報告会の始まりはそこからでした。

各地域のコミュニティセンターへ訪問し、報告会の回数を重ねることに、少しずつではありませんが、来場者も増加傾向になってきました。

議会報告会は、膝を交えた話し合いの場なので、町民の声をじかに聴きとることができました。

そんな皆さんの声を一緒に考えていきましよう。

町民の声と

議会の対応

高齢者の移動手段について

については

- ・ 運転免許証を返納しようと思ってもそれに代わる移動手段がない。
- ・ タクシー半額制度は有り難いが遠隔地では高額負担で大変だ。
- ・ 生活習慣で隣接市への用事が多いが、タクシー半額制度は町内のみ

適用なので、使い勝手が悪い。

- ・ 病院独自の送迎バスがあるが、走行ルートがみな同じで不便な地域は不便なままだ。
- ・ 近所の店が廃業し、日用品すら買い出しをしなければならぬ状況になった。高齢者の足の確保を急いでほしい。

地域からの要望について

- ・ 地域の課題改善を要望しても、「予算がない」のひとことで片付けられてしまう。
- ・ 議員を同席させて要望書を提出したほうが優先されている気がする。地元には議員のいない地域は不利に思う。

議会としての対応

- ・ 定例会の一般質問でも、公共交通のありかたやタクシー半額補助の改善検討などを取り上げてきています。公平性の確保や山間地形での交通運用の難しさなど、難問であることも事実です。各議員も重要な課題として認識しており、常任委員会で継続して調査・研究をしていく方針です。

議会としての対応

- ・ 産業建設委員会では、町民から提出されている要望の実施調査を行っています。町担当課も、すぐに実施できなくても、順番に対応するよう心掛けています。正しく要望が伝わっていない場合もあるので、担当課や知り合いの議員に遠慮なく問い合わせさせていただきたいと思っています。

大子町議会報告

7月24日(月) 依上、佐原、黒沢 地区

25日(火) 上小川、大子・池田、宮川 地区

27日(木) 袋田、生瀬、下小川 地区

・町の病院に外来の先生が来る日に診察を受ける患者が多い。病院が連携協力して名医を呼ぶようにしてほしい。
・常陸大宮済生会病院は、総合病院の形態になっていない。診療科の充実が図れるようにしてほしい。

医療・福祉について



町民からは、いろいろな意見が出されました

議会としての対応

・地域医療の保全是重要です。筑波大学病院と協定を結び、町の支援により医師を派遣してもらおう体制づくりに取り組んでいます。常陸大宮済生会病院も、年間の利用者数の割合で近隣市町村が補助金を捻出して、病院の維持・充実をお願いします。

さまざまな声も

・道の駅の駐車場の拡張を再度考えてほしい。
・防犯灯のLED化を進めてほしい。
・庁舎建設は、今後の人口推移を考慮して検討してほしい。地産材を利用するなど、さまざまな観点で検討をするべきだと思います。
・後期高齢者の健康診断は、検査項目が少なくてがっかりしました。
・人口減少の対策をしっかり考えてほしい。

まとめ

・議会報告会は、議会がしてきたことを報告する場との認識で実施してきました。
今後の課題は、経過や実施報告だけでなく、「議会はこのようなくとを考えています。」

「議会は、これからこのようなことを実行していきます。」といった先行宣言型の報告会が実施できるようにしたいと思っています。手作りの議会報告会ですが、次回開催の際には、進歩できるよう検討を進めてまいります。

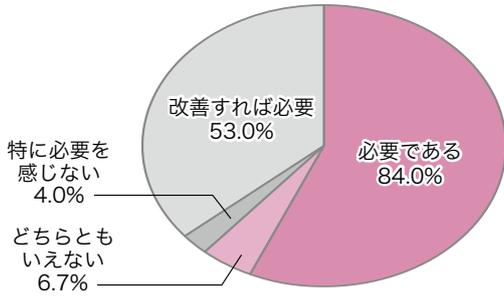


議会報告会の様子

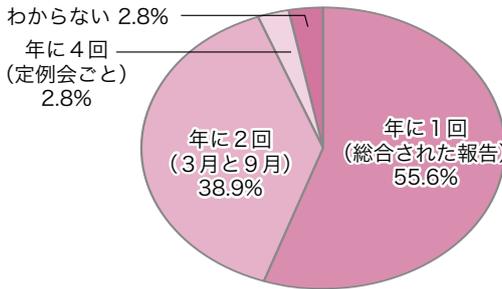
— みなさんの声を活かすためには、

議会報告会アンケートから

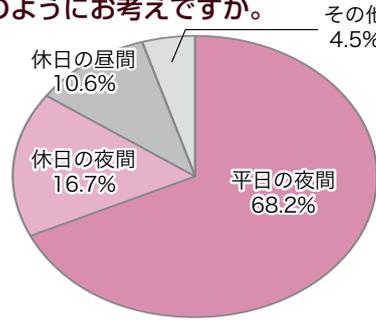
1 今回のような議会主催の報告会をどう思われますか。



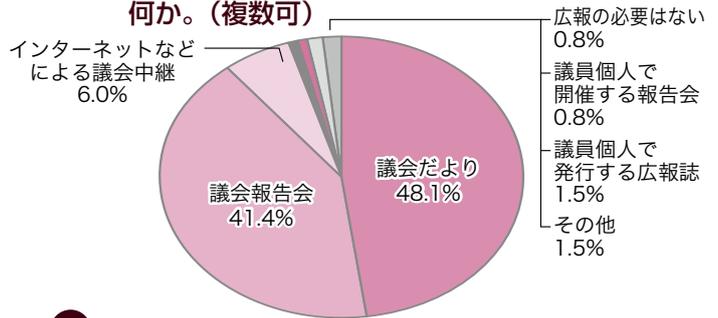
2 議会報告会を必要と感じた方は、開催頻度はどのくらいが適切だと思いますか。



3 議会報告会を必要と感じた方は、開催日をどのようにお考えですか。



4 議会の広報手法について必要と思われるものは何か。(複数可)



議会報告会の感想・意見

(アンケートから：抜粋)

- ・前回の質問の回答がない。
- ・報告内容が不十分で、実際のところの活動内容がつかめない。もっと具体的な報告内容が必要である。
- ・地元議員は必ず出席してほしい。
- ・役場立て替えの話が出ているが、予算のこともあるだろうがしっかりと目立つ建物にしてほしい。

- ・道の駅の二の舞はごめんだ。
- ・今回は具体的な意見交換ができて良かった。次回を楽しみにしている。
- ・初めての出席だったが、次回も出席したい。
- ・参加者の人数が少なすぎる感じがする。
- ・議会報告会の開催を町民に知らせる方法を考えてほしい。

常任委員会合同視察研修

10月16日 福島県国見町

今回の視察研修は、本町役場庁舎建て替えが検討されていることから、福島県国見町新庁舎の視察を行った。国見町の人口は、9450人と本町の約半分、面積は本町の8分の1ほどの町である。庁舎建設の計画は、平成24年に始まり、25年9月に着工して、27年3月に完成した。地上3階、地下1階の庁舎である。建坪は452坪、延べ床面積1462坪で鉄筋コンクリートと鉄骨の構造で、特殊な集成材工法を採用している。

新庁舎のコンセプトは、町民に開かれた親しまれる庁舎、防災拠点機能を備えた庁舎、町民サービスの機能効率性の高い庁舎である。内装は地場産のスギやヒノキが使用されていないために、木の温もりは感じられなかった。また、集成



国見町役場庁舎内の様子

材の特殊な工法を用いたために、部分的に費用もかかったものと思われる。外装では窓がない造りだ。都会の建物では普通かもしれないが、地方においては新鮮な外気を取り入れる換気用の窓は必要ではないかと感じた。

建物の工事費は2億4千7百万円の新庁舎。総合的にはコンパクトによくできていると感じた。

(中郡一彦)

平成29年 第2回定例会



平成29年度一般会計補正予算

5,915万円の増額

平成29年度大子町一般会計補正予算（第2号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ94億6,849万7千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計173万3千円の増額、後期高齢者医療特別会計326万4千円の減額、介護保険特別会計4,873万1千円の増額、介護サービス事業特別会計752万9千円の減額、浄化槽整備事業特別会計569万円の減額の補正がありました。

水道事業会計については、収益的支出462万8千円の増額補正のため補正後の予定額は4億5,996万9千円、資本的収入243万円の増額補正のため補正後の予定額は1億8,351万1千円、資本的支出243万円の増額補正のため補正後の予定額は3億9,339万7千円となります。

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	2,310 万 9 千円
国庫支出金	1,832 万 2 千円
県支出金	967 万 5 千円
歳 出	補 正 額
大規模盛土造成地の変動予測調査業務委託料	49 万円
移住・定住促進事業費	338 万 7 千円
光ケーブル移設工事業務委託料	200 万円
マイナンバー等への記載項の充実に伴うシステム改修業務委託料	699 万円 9 千円
行政情報ネットワーク端末購入費	355 万 7 千円
広域連携バス運行業務費	32 万 4 千円
防犯灯整備事業支援事業	106 万円
地域おこし協力隊事業費	202 万 5 千円
中山間地域農業基盤整備促進事業補助金	131 万 2 千円
特産品流通公社事業費	1,520 万円 8 千円
大子町観光振興基本計画策定業務委託料	390 万円
道路新設改良費	907 万 8 千円
防火水槽周辺土留め柵設置工事	92 万 3 千円
上小川小学校体育館側入り口改修工事費	143 万 9 千円
オリンピック・パラリンピック教育推進事業費	17 万 5 千円
他会計繰出金	△ 7,000 万円

第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第57号	公益的法人等への大子町職員の派遣等に関する条例	原案可決
議案第58号	大子町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例	原案可決
議案第59号	大子町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	大子町名誉町民条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第61号	大子町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	大子町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第63号	消防ポンプ自動車の取得について	原案可決
議案第64号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第65号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案選任
議案第66号	平成29年度大子町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第67号	平成29年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第68号	平成29年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第69号	平成29年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第70号	平成29年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第71号	平成29年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第72号	平成29年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第73号	平成28年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第74号	平成28年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第75号	平成28年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第76号	平成28年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第77号	平成28年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第78号	平成28年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第79号	平成28年度大子町水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定
委員会報告 第1号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
議員提出議案 第2号	議員の派遣について	原案可決
議員提出議員 第3号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名														
		賛成	反対	菊池富也	須藤明	藤田英夫	菊池靖一	櫻岡義信	中郡一彦	岡田敏克	大森勝夫	金澤真人	齋藤忠一	佐藤正弘	鈴木陸郎	藤田稔	野内健一	吉成好信
73号	平成28年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○
74号	平成28年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○
75号	平成28年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○
76号	平成28年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○

※○=賛成、×=反対、△=欠席 - =議長（鈴木陸郎議員）は採決に加わりません。

可決された条例の内容は

◇公益的法人等への大子町職員のパイプ等に関する条例

○制定の概要

・町職員を公益的な法人に派遣する場合、公務員なので法律の規定があります。派遣ができるように条例を制定しました。

◇大子町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例

○制定の概要

・工場の敷地は一定の緑地を計画しなければなりません。工場の床面積を多くとれるように規制を緩和し、工場進出や事業拡大がしやすくなるものです。

◇大子町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

○改正の概要

・固定資産税の課税免除の対象事業から情報通信

技術利用事業を廃止し、新たに農林水産物等販売業を追加するものです。

◇大子町介護保険条例の一部を改正する条例

○改正の概要

・第1号被保険者（※1）及び第2号被保険者（※2）のほか、第1号被保険者の配偶者及びその世帯員が文書等の提出命令に従わず、市町村職員の質問に対して虚偽の答弁をした場合等に、10万円以下の過料を科することを定めた規定において、新たに第2号被保険者の配偶者及びその世帯員に対しても、同様に過料を科することとされたため、これに準拠して条例の一部を改正するものです。

（※1）65歳以上の方で、認定を受ければ介護サービス等を受けることができる方です。

（※2）40歳～64歳の方で、対象となる病気が原因で介護サービス等を利用できる方です。

◇大子町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○改正の概要

・主任介護支援専門員は5年後との更新制になりました。更新研修の受講時期の明確化を含めて、定義規定の条例の改正をするものです。

大子町 固定資産評価 審査委員会委員に 佐久間勝海氏を 選任

大子町固定資産評価審査委員会委員に佐久間勝海氏（塙）を選任（再任）することに同意しました。任期は平成29年10月12日から3年です。

第3回定例会

決算を認定

主な事業と事業費

○道路新設改良事業	201,181 千円
○池田住宅建設事業	15,031 千円
○上小川第二住宅建設事業	171,001 千円
○消防施設整備事業	104,328 千円
○小学校施設整備事業	28,372 千円
○中学校施設整備事業	6,879 千円
○保健体育施設整備事業	32,088 千円
○生瀬コミュニティセンター整備事業	42,156 千円



道路改良事業（池田地内）



道路改良事業（袋田地内）



子育て支援住宅（上小川地内）

平成28年度の予算執行については、依然として自主財源の厳しい財政状況の下での執行となりましたが、行財政改革の推進による歳出の削減に努めながら、交通通信体系の整備、産業の振興、福祉対策事業、教育の振興、生活環境の整備等に係る各種事業の推進に努めました。主な事業の決算は次のとおりです。

また、平成28年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額が100億7508万6千円で、前年と比較して6億5387万3千円、6・1%の減となり、歳出では決算額が95億298万7千円で、前年と比較して5億2904万6千円、5・3%の減となりました。特別会計及び水道事業会計の決算は別表のとおりです。

平成28年度の執行状況



グラウンドゴルフ場整備事業（旧下野宮小）



大子中学校校舎前舗装工事



救助工作車の購入（消防）

平成29年

平成28年度

平成28年度

- 都市再生整備計画事業 79,974 千円
- 頃藤保育所増築事業 4,631 千円
- （仮称）池田保育園整備事業 59,926 千円
- 廃棄物処理施設整備事業 142,211 千円
- 土地改良事業 52,792 千円
- 奥久慈グリーンライン林道整備事業負担金 32,622 千円
- 林道開設改良事業 32,062 千円
- 森林機能緊急回復整備事業 36,487 千円

平成28年度 特別・水道事業会計決算

会計別		歳入決算額	歳出決算額
特別会計	国民健康保険事業	28億4,516万6,838円	27億9,060万3,216円
	後期高齢者医療	2億3,424万6,764円	2億2,444万7,594円
	介護保険	25億260万996円	23億5,771万6,105円
	介護サービス事業	2,902万8,659円	2,902万8,659円
	浄化槽整備事業	9,869万5,993円	9,864万7,329円
水道事業会計	収益的収支	4億9,966万546円	4億1,406万3,673円
	資本的収支	1億5,528万4,920円	3億1,212万5,500円

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億5,684万580円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,324万3,514円、過年度分損益勘定留保資金2,917万3,892円、現年度分損益勘定留保資金1億381万6,668円、建設改良積立金取り崩し1,060万6,506円で補てんした。

平成29年第3回定例会

町政に

ここが聞きたい！これを言いたい！

9人の議員が一般質問！！

質問席

質問内容	ページ	質問者
地方創生への積極的な取り組みは	P. 11	大森勝夫 議員
オーストラリア視察から得られた事例は		
水位情報周知河川の指定は	P. 12	藤田 稔 議員
森林湖沼環境税に対する考えは	P. 13	金澤真人 議員
大子町の財政状況は		
町有地への企業誘致は		
森林保全に対する町の考えは	P. 14	菊池靖一 議員
サテライトオフィス誘致の町の考えは		
子ども議会の答弁は夢を加えて	P. 15	吉成好信 議員
隠れている袋田の滝「恋人の聖地」は		
全国瞬時警報システム（Jアラート）の対応は		
バイオマス発電施設の稼働時期は	P. 16	佐藤正弘 議員
環境保全協定については		
新庁舎建設の方針は		
中学生を対象にピロリ菌検査は	P. 17	野内健一 議員
平成 30 年度からの介護保険法改正とは		
高齢者が投票所へ行ける支援を	P. 18	中郡一彦 議員
子育て支援住宅に住み続けられるのか		
ハイキングコースの安全対策を	P. 19	須藤 明 議員
日体大との協定による今後の取り組みは		

◇一般質問とは…

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

インターネットで映像配信中

町議会では、インターネットによる議会中継を配信しています。定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。

ホームページから [議会中継](#) クリック スマートフォンから [大子町議会中継](#) [検索](#) クリック

一般質問

地方創生への積極的な取り組みは

【答】町独自の政策で取り組んできた



大森勝夫 議員

地域づくり総務大臣表彰を受けている。

【大森】 地方創生の基本的理念は、やる気を持っていく地域を支援する発想である。県北に位置する大子町は、この政策を積極的に活用する必要があると考える。町の方針は。

【町長】 地方創生は4～5年前から国が打ち出した政策だ。大子町は、10年前に山田ふるさと農園事業を実施し、子育て支援に関する無料化や施設の充実など、町独自の地方創生に類似する事業を実施し、がんばる

のか。

【大森】 近隣市では、地方創生の枠で3～5事業程度は採用されている。総務省のHPから検索すると、大子町単独で採用された事業は無い。今後の取り組みは。

【町長】 アートを活かしたまちづくりや第二のふるさといばらきプロジェクト推進事業は地方創生関連交付金でおこなっている。町が取り組んでいる特産品流通公社の事業を採用してもらえよう働きかけたい。

【大森】 高速道路の計画が県内で無い地域は大子町を含む国道118号線沿いである。道路事情の改善も、広義で地方創生の範囲に類すると思う。地域高規格道路に準じる道路整備を強く要望していくべきではない

【町長】 高速道路が無い事と絡めて道路整備を要望する考え方は理解しがたい。国道整備の要望は毎年おこなっている。

【大森】 高齢者のために、地域公共交通のありかたも課題である。道の駅を基点とした、自動運転による公共交通の実証実験が始まっている。大子町にも実験に適した交通量の少ない場所があると思う。実験が行われている地域は先進的なイメージが得られる。国土交通省の分野だが、地方創生の観点から、実験候補地になれるよう働きかけが出来ないか。

【まちづくり課長】 国土交通省が全国13か所で実証実験をおこなう予定である。事故が起きた場合の賠償ル

ールなども国は検討している。動向を注視しながら対応について検討する。

オーストラリア視察から得られた事例は

【大森】 町長はオーストラリアに行政視察で9日間訪問した。大子町の行政に生かせる事例は何か。

【町長】 関東町村会の研修視察で、視察日は6日間である。

ブルームウンテンでは自然保護に厳格に取り組んでいた。

クイーンズ州では自治体の集合組織として自治協会を作り、職員採用から組合対策まで実行できる権限を与えている。各自自治体の負担軽減になっっているが、日本と法律体系が違うので導入というわけにはいかない。各観光地で感じ

たことは中国人観光客の多さである。中国企業の宣伝広告も多く、日本の企業はオーストラリアから駆逐されてしまうのではないかと危惧するほど、中国の勢いを感じてきた。



道路整備も地方創生の手段のひとつ

一般質問

水位情報周知河川の指定は

必要な河川は県に要望していく



藤田 稔 議員

ている。通話料を除き年間143万1680円の管理費となっている。

【藤田】 衛星携帯電話は町全域通信可能か。

【総務課長】 全域受信可能となっている。

【藤田】 各コミュニティセンターに発電機等の設置は考えられないのか。

【総務課長】 検討したい。

【藤田】 水位情報周知河川についての考えは。

【総務課長】 指定は茨城県知事が行う。指定の必要な河川がある場合は県に要望していきたい。

【藤田】 町としての避難誘導等の基準はあるのか。

【総務課長】 気象庁の警報や警戒情報等によ

って災害対策本部で発令を行う。

【藤田】 森林伐採後、事業者へ災害防止の指導は行ってきたか。

【農林課長】 伐採後の処置は直接指導している。

【藤田】 避難場所や避難所の安全確認はされているか。

【総務課長】 36カ所確認している。適正を欠いている

場所もあり検討したい。

【藤田】 福祉避難所の受け入れ体制等の協議は行っているのか。

【福祉課長】 各施設に対応できることを確認している。

【藤田】 避難支援体制の進捗状況はどうか。

【福祉課長】 行政と自主防災組織で支援者が誰か共有できていると考えている。

【藤田】 福祉避難所への移送と生活物資の調達は。

【福祉課長】 移送についてはマニュアルがない状態である。物資は町が調達する。

【藤田】 備蓄資機材の管理状況及び施設の耐震化は。

【総務課長】 数ヶ所に集約して保管している。耐震化された建物に一括管理をしていきたいと考えている。

【藤田】 町では飲料水が備蓄されていない。学校を含めた避難所には、最低限の飲料水の備蓄が必要ではないか。

【教育長】 災害時に備えた飲料水の確保は重要な点であると考えている。

【藤田】 大子町地域防災計画や大子町国民保護計画が策定されている。それぞれ見直しはされているのか。

【総務課長】 それぞれの見直しを含め検討したい。

【藤田】 大子町高齢者等住宅用火災報知器配置事業が実施されている。配置状況はどうか。

【福祉課長】 平成24年から合計37台である。

【藤田】 消防本部職員の設置率はどうか。

【消防長】 ほとんどの職員が設置している。

【藤田】 事業推進に向けた考えはどうか。

【福祉課長】 事業の重要性は十分認識している。事業を利用していただけるよう申請書も含めて検討したい。



備えあれば憂いなし

一般質問

森林湖沼環境税に対する考えは

【答】何としても延長と考えている



金澤眞人 議員

く、国による森林環境税創設の動きがあるがどういった状況か。

【町長】 昨年末に税制改正大綱に盛り込まれたが内容はまだはつきりしていない。

現在30余りの都道府県が独自の森林環境税を導入しており、茨城県の場合は現在の森林湖沼環境税に支障のないように働きかけをしていきたい。

大子町の財政状況は

【金澤】 大子町には12ほどの基金があるがどういった状況なのか聞きたい。

【財政課長】 一般会計に設置してある9つの基金の総額は債権と合わせて37億6540万円となっており、条例及び財政計画に基づき適正に積み立て及び取り崩しを行っている。

【金澤】 役場庁舎建設が検討されているがどういった状況なのか。

【財政課長】 町では庁舎の

【財政課長】 一般財源である財政調整基金と減債基金について国及び県から適正水準が示されているわけで

町有地への企業誘致は

【金澤】 町有地の有効利用として創造の森に（株）クリハラントが企業誘致され着々と建設工事が進められているが、誘致に関する用地の整備はどのようになっているか。

【まちづくり課長】 発電プラントへの進入路、水道施設整備、排水路及び沈砂池整備は町負担で行っている。

大規模な用地造成は事業者の負担で行っている。本事業により固定資産税や水道料金の収入が見込まれ、町が投資した経費を超える税収の増加を期待している。

【金澤】 創造の森に企業誘致が実現しインフラが整備されたことによ

はないが、町の基準財政需要額51億9千万円の半分として25億円ぐらいが適正ではないかと考える。

【町長】 町の公共残土の処分場として使われており今後も活用していきたい。又資材置き場として利用したいなどの話もあり、今後様々な活用があるのでと考えている。



完成間近なバイオマス発電所（池田地内）

一般質問

森林保全に対する町の考えは

答 植林後の管理支援も今後考える



菊池靖一 議員

〔菊池〕 森林法により伐採及び伐採後の造林計画書を市町村長に提出し、造林後森林の状況報告が義務づけられているが、現況把握は行っているか。

〔農林課長〕 昨年度町へ届出があつた皆伐面積は約30ヘクタールだが、皆伐後の山林をすべて確認するのは困難な状態である。

〔菊池〕 無届伐採や再造林の状況、皆伐マップの作成、放置された山林の天然更新（年月による変化）状況などのチェックが必要ではないか。

〔町長〕 現在の職員体制で

〔菊池〕 来年は木質バイオマス発電所が稼働を始める。年間4万トンの燃料調達のため皆伐が進み、再造林されないまま放置される山林が増えることが予想されるが、森林保全についての町の考えは。

〔町長〕 町内では、伐期を迎えた森林の皆伐が増加し再造林が行われない山林も増えている。町では、再造林に対して補助をしているが、今後は下刈りに対する補助も考えていく。



放置された山林、その後はどうなる

は難しいので、森林組合や林業事業者などの協力を得て把握したい。特に放置した山林の現況調査は、聞き取りやピックアップ調査で把握したい。

〔菊池〕 森林保全の一つの考えとして、発電事業者や

サテライトオフィス誘致の町の考えは

〔菊池〕 新知事は茨城県にサテライトオフィス（本社での業務と同様の仕事が行えるように通信環境が整備されている小規模事務所）誘致を進めると公約で掲げている。町も誘致できる環境を整え、いち早くアピールすべきと考えるが町の対応は。

〔まちづくり課長〕 県では今年度サテライトオフィスのお試し利用を希望する企業を都市部から募っている。町でも誘致を希望している。今後県の動きと連携して進めたい。

〔菊池〕 旧つくばの森を

林業事業者に協力を頂き「基金制度」を創設してはどうか。

〔町長〕 森林湖沼環境税で事業者にも課税しているもので、二重課税になってしまふので難しい問題である。

T企業のオフィス誘致、大子町の特産品試食ハウス、森林セラピーの3つを融合した森林にすれば企業誘致に差別化が図れ、特産品の販路拡大や健康長寿を目指す町としてのアピールも出来るのではないか。

〔まちづくり課長〕 旧つくばの森の活用については、協議会などの組織をつくり議論の中で活用を検討していきたい。

その他の質問

- 協働の町づくりについて
- ごみの減量化について
- 公共施設の整備について

一般質問



吉成好信 議員

大子町子ども議会の答弁は夢を加えて

【答】前向きな答弁をしたつもりである

【吉成】 子ども議会も3回目となったが、3回で終わりのなか。子ども議会の会場を見れば、まさに真剣なもの。生きた社会勉強ではないだろうか。平成29年度子ども議会は「私たちが大子をつくる、みがく、輝かせる」のテーマ、まさに夢のある議会ではなかったか。しかし、執行部からの回答はもう少し夢のある回答がでなかったのかと、残念に思う。

子ども議会の質問も、人

口減少についての心配、空き家の問題、循環バス、大子町の特産品について、我々議員も顔負けする内容であった。教育長も一生懸命に内容を取り入れて、一人一人お褒めの感想を述べていたが、一歩前へ出て「これからの町づくりの中へ取り入れていきたい」くらいのこと言っても良かったのではないか。

【町長】 関係課と私のほうで協議した内容で答弁させてもらった。もう少し夢のある答弁を、ということだが、率直に町の現況や取り組みを説明し、検討できるものについては前向きな答弁をしたつもりである。

【教育長】 今回の子ども議会では、子どもたちから建設的な意見や提言が

あった。本当に町のことを良く考えているし、行政についても関心を持っていることがわかった。3回で終わりにするかどうかについては、これまでのいろいろな意見や提言、こういった子ども議会での発言などを考えると、今後も継続いくことも一つの考えではないかと思っている。



子ども議会の様子

隠れている袋田の滝「恋人の聖地」は

【吉成】 恋人の聖地は全国

にあるわけだが、滝への通路の中にあるのは大子町だけではないかと思う。地域おこし協力隊の友常みゆきさんが、ここで多くの恋が生まれ育つことを祈って政策した町の鳥「おしどり」をモチーフにしたモニユメントを設置しているが、宣伝不足であるので、滝の入口や国道118号、461号沿いに大きな看板を設置してはどうか。また、恋人の聖地にふさわしい土産品についてはどうか。

【観光商工課長】 恋人の聖

地としては県内2カ所目、滝では全国初として平成27年10月1日にプロポーズに相応しいロマンチックなスポットとして、恋人の聖地に認定され3年目、袋田の滝沿道には「恋人の聖地」のぼり旗を設置している。今年度は、袋田の滝観瀑事務所のところへ設置する予定である。国道沿いの看板のPRについては、看板の適正な配置を含め検討したい。

全国瞬時警報システム（Jアラート）の対応は

【吉成】 全国瞬時警報システム（Jアラート）の警報指示はあるが、避難はどうすればよいのか。

については、5月8日のお知らせ版、9月20日の広報だいで周知している。

【総務課長】 町民への具体的な指示や弾道ミサイルに

一般質問

バイオマス発電施設の稼働時期は

【答】 来年5月ごろ商業運転が開始される



佐藤正弘 議員

ているとのことだが、3月以降の測定値は。

【まちづくり課長】

トラックでの計測は700回測定され、おおむね10ベクレル程度であった。貯木場の原木を抽出した測定では、62回測定し、不検出が42回、平均で21ベクレルであった。

【佐藤】

企業側が測定しているが数値として残っているのか。また、平均で21ベクレルの最高値はいくらだったのか。

【まちづくり課長】

測定器から印字されるのをプリントされるわけではな

【佐藤】 森林の温泉隣接地のバイオマス発電施設の稼働は当初平成28年10月と発表されてきた。町長が積極的に推進してきたものだが大幅に遅れている。一体いつ稼働するのか。

【まちづくり課長】 海外での機器製造が遅れており、作業が一時中断している。本年10月から工事を再開し、来年5月ごろ商業運転が開始される予定である。

【佐藤】 毎回トラックごとに放射性物質の測定を行っ



築後56年、建て替えが検討されている役場庁舎

環境保全協定について

【佐藤】 環境保全協定の有効期限が1年で、測定は大気、水質汚染、騒音、振動

など6カ月に1回、年1回、必要な都度などとなっていないが不十分ではないのか。

【まちづくり課長】

こうした協定については、1年、2年、3年といった期間を持って更新するのが基本である。測定頻度については県の条例を引用している。

新庁舎建設の方針は

【佐藤】 新庁舎建設に係わる意見等の募集を行ったと第2回検討委員会の報告書にあるがどの様な意見が寄せられたのか。

【総務課長】 主な内容は、太陽光発電システムの導入、自然採光を取り入れた開放感のある執務室の実現及び環境に配慮した庁舎な

どになっており、検討委員会で示した新庁舎建設の整備方針に合致したものであった。

【佐藤】 今後も、町民の声を聞いていく必要がある。今後のスケジュールは。

【総務課長】 国の支援を受けるためには、平成32年度竣工を想定し検討を行っている。今後、検討委員会では、建設位置、建設内容等を検討し、庁舎建設に関する基本構想及び基本計画を策定する予定である。基本設計については、案が固まり次第、広報だけでなく住民説明会を開催したい。新庁舎の規模から勘案すると、工事着工から竣工までおよそ1年半の工期を想定し、平成33年3月竣工となることから逆算すると、遅くとも平成31年10月には建設工事に着手する必要があると考える。

その他の質問

○観光地としての環境整備、保全について

一般質問

中学生を対象にピロリ菌検査は

【答】二十歳過ぎてからでも遅くない



野内健一 議員

進員」と「がん検診推進サポーター」の現状は。

【健康増進課長】

がん予防推進員については、食生活改善推進員が、平成2年から養成講習会に参加し、今までに74人を養成、現在は60名が、がん予防推進員として活動している。がん検診推進サポーター

については、通常の企業活動の中で、社員や住民に対してがん検診の情報提供や受診勧奨を行っている。

【野内】水戸市では今年から中学2年生を対象として、貧血検査による血液を利用して、胃がんの最大の

原因と言われているピロリ菌検査を実施するのとこのだが町の考えは。

がんでする減らすため、水戸医師会の意見を聞きながら始めたと聞いている。町としては、先行して実施

している水戸市の検査結果や、水戸医師会、学校関係者のご意見等踏まえながら、大子町での実施については、慎重に判断していきたい。

平成30年度からの介護保険法改正とは

【野内】改正介護保険法が今年の5月に制立し、平成30年度より実施されるとのことだが、何が変わってわたしたちにどのような影響が及ぶのか。

【福祉課長】一つ目としては、サービス利用者の負担が見直される。現在2割負担のうち、特に所得の高い層の方の負担割合が平成30年8月から3割負担になる。二つ目としては、40歳から64歳までの方は現状では人数の均等割だが、これを所得額に比例した報酬額に移行することになる。三つ目は、介護保険と障害福祉の両方の制度に、新たに共生型サービスが位置づけられる。このことにより、高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受ける

ことが出来る。四つ目は、自立支援や介護予防などで成果を上げている市町村、またはそれを支援する都道府県を評価する制度が導入される。

【野内】団塊の世代と言われている方が、後期高齢者となる時代がもうすぐ訪れる。このことにより、介護と医療の連携事業がますます重要と考えられるが、町の対応は。

【福祉課長】町としては、平成27年度に在宅医療・介護連携推進事業委員会を立ち上げている。医師、歯科医師、薬剤師、病院及び介護施設等の従業者等で構成されており、町の医療介護の現状分析や事業検討研修会などを実施している。

事業所でサービスを受ける

一般質問

高齢者が投票所へ行ける支援を

【答】投票のできる環境づくりを進める



中郡一彦 議員

【中郡】山間地域においては、特に若者が減少し高齢者だけが残っている世帯が多い。選挙が行われても投票所へ行くための交通手段がなく困っている。更に、高齢者が投票所までの長い距離を徒歩で行くのは困難であり高齢化が進行することを考えると、高齢者に対し送迎支援や移動投票など、投票のあり方を考える必要があるのではないか。また、投票率を見ても50歳以上では、齢が上がるほ

【総務課長】高齢者等への対応策については、移動投票所や送迎バスの運行等が考えられるが、選挙当日では時間に制限がある。期日前投票期間であれば可能であり、巡回バス等の運行が、本町での最善の方法だと考えている。交通手段がなく投票所へ行くのが困難な高齢者

どに投票率も高い。70歳代では77%と最も高い。しかし80歳以上となると49%と低下する。このように高齢化によって投票所に行くのが困難な状況になっていく。誰もが公平公正に投票できる環境を整える必要があると思うが。

【町長】指摘のように、80歳以上になると投票率が50%を切ってしまう。やはり、高齢者や障害者の方には厳しい環境にあると思う。難しい問題もあるが、できる



期日前投票所の有効活用を

限り高齢者の方でも投票できるような環境づくりを進

めていきたい。

子育て支援住宅に住み続けられるのか

【中郡】子育て支援住宅が建設され、入居希望者も多く順調に推移している。地域によっては子どもの数も増加傾向にあり、地域の活性化にもつながり、良いことだと思う。

しかし、子どもが成長し、18歳を過ぎても子育て支援住宅に住み続けることができるのか。また、規約や条件等が定められているのか。

【建設課長】子育て支援住宅を含む町営住宅全体の中で、子どもが成人したから出なければならぬ、という規定は定めていない。継続して住むことは可能である。ただ、同居する子どもの人数により家賃を減免しているの

【建設課長】子育て支援住宅が建設され、入居希望者も多く順調に推移している。地域によっては子どもの数も増加傾向にあり、地域の活性化にもつながり、良いことだと思う。

【建設課長】子育て支援住宅が建設され、入居希望者も多く順調に推移している。地域によっては子どもの数も増加傾向にあり、地域の活性化にもつながり、良いことだと思う。

【建設課長】子育て支援住宅が建設され、入居希望者も多く順調に推移している。地域によっては子どもの数も増加傾向にあり、地域の活性化にもつながり、良いことだと思う。

【建設課長】子育て支援住宅を含む町営住宅全体の中で、子どもが成人したから出なければならぬ、という規定は定めていない。継続して住むことは可能である。ただ、同居する子どもの人数により家賃を減免しているの



町外からの入居希望が多かった上小川第二住宅

一般質問

ハイキングコースの安全対策を

【答】関係者間で協議する場をつくる



須藤 明 議員



山岳事故防止対策の強化が望まれる

議の場を持ち、事故発生
の状況や原因となる情報の共
有、どうしたら防げるのか
という事故防止策、事故発
生時の関係者間でどういつ
た対応をとっていくのか、
そういったことを協議する
場を作っていききたい。

日体大との協定 による今後の 取り組みは

【須藤】日本体育大学との
協定による今後の大子町の
体育、スポーツ分野におけ
る方向性、決意について伺
いたい。

【町長】大子町のスポーツ
指導者、体育指導者に対す
る指導については大きな期
待をしている。今後必要な
予算化を検討し、交流を深
めていきたい。せっかく結
んだ協定なので、大いに活
用して大子町のスポーツ振
興、スポーツを通じた健康
づくりに役立てたい。

【須藤】具体的に進めてい

く上で、小・中学校や高等
学校、体育指導員関係など
はどのような指導を希望
し、何を求めているのか意
見聴取した経緯はあるのか。
【まちづくり課長】今年度

は、こういった事業を日本
体育大学に対して行っても
らいたいかという要望調査
を、小・中学校、大子清流
高校、大子町体育協会に対
して行った。けがの予防と
それに伴う基礎トレーニング、
トレニングをテーマ
にした研修会、運動会での
集団行動へのレクチャー、
小・中学生を日本体育大学
での宿泊研修に派遣すると
いった要望があり実施した
もの、日程調整がつかず実
施に至っていないものがあ
る。大子清流高校からは、
オリンピッククメダリストに
よる講演会開催の要望があ
り、日本体育大学側と調整
を行っている。

その他の質問

○将来を見据えた学校再編
のあり方は

者に委託している。

【須藤】過去5年間に起き
た山岳事故の件数はどれく
らいあったのか。

【観光商工課長】消防の山
岳救助出動件数によると、

平成24年度が1件、25年度
が5件、26年度が3件、27
年度が4件、28年度が4件
で合計17件発生している。

【須藤】過去5年間に17件
の山岳事故が発生してい

る。山岳事故の教訓を活か
し、町が主体となり関係機
関との連携を図る（仮称）

ハイキングコース事故防止
連絡会議を立ち上げてはど
うか。救助したときの意見
などを聴き、整備をしてい
く仕組みが大切ではないか。

【観光商工課長】近年の山
岳事故を踏まえ、今後は大
子警察署、消防本部、山岳
会、観光団体と定期的に協

【須藤】奥久慈大子には、
急峻に富んだハイキングコ
ースが多数あり、初心者か
ら上級者まで多くのハイカ
ーが訪れている。ハイキン
グ人気が高まっていく中で
コースの整備や案内板の整
備はどのように行っている
のか。

【観光商工課長】コースや
案内板の整備は、登山客及
び地域住民の報告を受け観
光商工課が現地調査を行
い、対応し、職員で対応で
きないものは、町内の事業

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく

わたしの夢



僕の目標は、高校野球

で甲子園に行くことです。もともと、この目標はありましたが、実際には甲子園で野球を観戦して、すごい歓声だったので、僕もこの場所に立つてみたいと思いました。

僕は、小学校1年生から野球を始めました。始めた頃は何となくやっていましたが、続けていくうちに技術が上達していき楽しくなってきました。



南中3年
おのせ 雄斗さん
(大字頃藤)

た。そして、中学校ではクラブチームに入り、硬式を始めました。そこでは、技術面はもちろん、精神面も鍛えることができました。

僕は甲子園に行くために高校入学後も厳しい練習が待っていると思いますが、頑張ります。そして甲子園出場という夢をかなえたいです。

FM放送の

お知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

12月定例会

開催予定

- ▽6日(水) 開 会
- ▽7日(木) ～10日(日) 自宅審議
- ▽11日(月) 一般質問
- ▽12日(火) 一般質問
- ▽13日(水) 一般質問
- ▽14日(木) 逐条審議
- ▽15日(金) 逐条審議

閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

今回の表紙

今回の表紙は、奥津勝之様作品の「りんごの木の下で」です。現在町では特産の奥久慈りんごの収穫が最盛期を迎えています。奥に見える紅葉した山々とその手前を走る水郡線。秋の大子町を象徴する一枚です。(表紙の都合上、写真の一部を加工しております。)

大子町議会

広報委員会

- 委員長 大森 勝夫
- 副委員長 菊池 靖一
- 委員 中 郡 一彦
- 委員 佐 藤 正弘
- 委員 鈴 木 陸郎
- 委員 齋 藤 忠一

あとがき

今年の夏は天候不順が続き、子どもたちの夏休みにもさまざまな影響が出たのではないだろうか。9月に入り、各小中学校では運動会や体育祭が開催されている。つい先日、中学校の体育祭に出席したおり、いつもどおりの開会式であったが、最後に今までになかった。それは、北朝鮮のミサイル発射などにみられる、全国瞬時警報システム(Jアラート)の対応である。通報が出された場合、速やかに校舎の中に避難すると内容であった。戦後72年が過ぎ、あつてはならないが、改めて平和の尊さを感じるとともに、一日も早い平和的解決を望みたい。

(齋藤忠一)